

令和5年度第4回松山市地域包括支援センター運営協議会 議事録

日 時：令和6年2月1日（木）13:30～14:40

場 所：KH三番町ビル3階第1会議室

出席者：地域包括支援センター運営協議会委員12名、各地域包括支援センター、事務局

議 事：（1）地域包括支援センター運営状況について

①令和5年度地域包括支援センターの活動報告（令和5年4月～11月）

②基幹型地域包括支援センターの活動報告（令和5年8月～11月）

③包括的支援事業（社会保障充実分）進捗状況

（2）その他

（1）地域包括支援センター運営状況について

①令和5年度地域包括支援センターの活動報告（令和5年4月～11月）

- 高齢者人口の急速な増加に伴い、毎年、相談件数は増加している。
- 相談件数において、各包括で計上の仕方が変わらないようにマニュアルを作成しているが、職員の入れ替わりがあっても誤解が生じないように、マニュアルの点検が必要である。
- 困難事例の相談は、最近、セルフネグレクトや8050問題による相談件数が増えている。伴走型支援のため、長期間に関わり、今後も件数が増えてくると思われる。
- コロナ前とコロナ後の運営推進会議について、コロナ後の方が、地域住民が一つの繋がりを大切にするようになったと感じている。

②基幹型地域包括支援センターの活動報告（令和5年8月～11月）

- 虐待認定件数は減っているが、相談通報は増加している。これは通報後、確認をしたら、虐待ではないと言われることが多いためである。虐待は息子が行うことが一番多く、次に夫、妻となっており、全国的な傾向と同じである。

③包括的支援事業（社会保障充実分）進捗状況

- チームオレンジの活動を中心に、認知症の方に対し、やさしい地域づくりが進んでいけるよう推進していく。
- 地区の社会資源は、地域包括支援センターで把握している。
- 介護予防生活支援サービス事業の介護予防型と生活支援員型の利用件数の差が大きく、制度改正の趣旨と乖離しているが、事業所数が少ないことが要因と思われる。
- 災害時のことについて、「自分からどうするのか」という意識付けが大切である

が、意識付けをしていく上で、地域包括支援センターにおいても、地域住民に対し「災害、避難のことを考えましょう」と働きかけを行うことが大切だと思われる。

(2) その他

(意見) 特になし